

用途市場拡大と海外展開の歴史

用途市場拡大の軌跡

玩具業界に革命をもたらしたモーター

品質より価格が重視される日本の玩具市場でしたが、画期的な動力であるモーターを得たことにより電動玩具の開発が急速に進み、ついには高級玩具の代名詞となって海外への輸出量も急増しました。こうして当社のモーターは日本玩具業界、ひいては世界の玩具生産と子どもの生活に大きな革命をもたらしました。



水中モーター

実用向けモーターへの進出

玩具用途への依存から脱却するため、当時生産量が急増し始めたテープレコーダーに着目。性能・価格ともに高く評価されるモーターの開発に成功しました。実用向けモーターへの進出により、従来以上に高度な製品開発や生産体制、品質保証に対応できるようになりました。

テープレコーダー用モーター



音響・映像機器用モーターの市場を席巻

1975年、モーターの回転速度を一定に保つ「電子ガバナー」という装置をつけた「電子ガバナーモーター」を発売し、性能・価格面で高く評価され、音響・映像機器市場にマブチの名を知らしめることになりました。

電子ガバナーモーター



用途の多様化が進展

用途の多様化が格段に進み、1981年には音響・映像機器が売上の34%を占め、次いで家電・工具が29%、玩具・模型は27%となりました。自動車電装機器用途については、1975年にドアミラー用、1981年にドアロック用モーターに参入し、現在ではドアミラー用で8割以上、ドアロック用で7割以上の世界シェアを有しています。

ドアミラー用モーター



パワーウィンドウ用モーターに本格参入

1989年に第1世代のパワーウィンドウ用モーターを発売以来、次々と小型・軽量化の進んだ新世代製品を開発・販売し、パワーウィンドウ用途への本格参入を果たしました。小型・軽量・高効率化を実現する技術力とともに、標準化戦略によるリーズナブルな価格も評価され、自動車電装機器用途の販売が大きく成長しました。

パワーウィンドウ用モーター



次世代標準化戦略へ進化

従来のモーター単体販売に加え、減速機やファンなどの周辺部品を取り付けたユニット製品を開発・販売し、幅広いソリューションを提案することで、お客様が真に求める価値を提供する「次世代標準化戦略」を推進していきます。また、モビリティ、マシーナリー、メディカルの3つの領域に注力し、ライフ・インダストリー分野ではより速い成長を実現するため、ブラシレスモーターへの取り組みを本格化します。

移動体用モーター



1950年代

1960年代

1970年代

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

拠点展開の軌跡

- 日本
- 中国・アジアパシフィック
- 米州
- 欧州

1946年 香川・高松
馬淵健一が教材用モーターを開発

1954年 東京科学工業(株)設立
(マブチモーター創立)



1964年 香港マブチ

1965年 千葉・松戸に
松戸工場(現本社)設立



1969年 台湾マブチ

1971年 商号をマブチモーター(株)に変更、
千葉・松戸に本社機能を移転

1977年 アメリカマブチ
(販売会社)



1979年 高雄マブチ

1986年 広東に工場設立



1987年 大連マブチ

1989年 シンガポールマブチ
(販売会社)

1992年 技術センター(現技術研究所)
を設立



1993年 ヨーロッパマブチ(販売会社)

1993年 江蘇マブチ

1994年 瓦房店マブチ

1994年 東莞マブチ

1996年 ベトナムマブチ

2002年 上海に販売会社を設立

2005年 韓国マブチ(販売会社)

2005年 ダナンマブチ

2008年 マブチモーターチャイナ
深圳分公司(販売会社)



2010年 道ジャオマブチ

2011年 江西マブチ

2014年 メキシコマブチ



2017年 ポーランドマブチ



2018年 タイマブチ(販売会社)

2018年 江門マブチ

2019年 マブチモーターチャイナ
(統括会社)

2019年 マブチモーターチャイナ
東莞分公司

2021年 マブチエレクトロマガ

早期からの海外進出

創立10周年を迎えた1964年、香港に初の海外生産拠点を設立しました。当時、香港製品の輸出は英国を経由すれば欧州向けの輸出が無税という特恵関税制度があり、また香港は、世界の玩具生産地として急成長していました。玩具向けに加えて実用向けモーターの受注も順調に拡大する中、海外に向けた販売体制を強化するため、1977年にはアメリカに販売拠点を設立しました。

中国における集中生産体制

中国政府は1978年から改革開放政策を掲げ、外資企業の資本や技術を積極的に導入することで経済成長に向けた取り組みを開始しました。当社は、1986年に中国広東省にて委託加工生産を開始、1987年には中国大陸において日本企業として初となる100%出資子会社の「大連マブチ」を設立しました。以降も中国国内において生産拠点を複数設立し、集中生産による高いコスト競争力を活かし、世界市場に対する強固な供給体制を確立しました。

アジアへの進出

1990年代には中国沿海部での生産能力を増強するとともに、ベトナムのホーチミン近郊に進出しました。2000年代には中国沿海部に生産拠点が集中するリスクを避けるために、中国内陸部の江西省やベトナムのダナン市に生産拠点を設けました。

世界5極事業体制を確立、マブチグローバル経営へ

2014年には米州にメキシコマブチ、2017年には欧州にポーランドマブチを設立。各海外拠点の自主・自立性を向上させ、地産地消を実現する世界5極事業体制を確立しました。この世界5極事業体制に加え、拠点間の強固なつながりと多様な価値観を活用する「マブチグローバル経営」を強みとして事業活動に取り組んでいます。